

# よしかわ

News from Yoshikawa City Council

# 議会だより

No.202

# 2024.8

発行：吉川市議会  
編集：吉川市議会広報委員会  
〒：342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地  
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)  
FAX.048 (981) 5392  
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



## 目次CONTENTS

- 6月定例会概要…………… ②
- 委員会審査概要…………… ④
- 答えて市長！一般質問…………… ⑥
- 政務活動費 内部監査委員会を行いました …… ⑫
- 吉川市議会へアクセスしてみよう…………… ⑬
- 審議結果…………… ⑭

議会だよりが  
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索

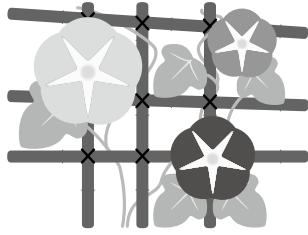


# 6月定例会 概要

令和6年6月定例会は、5月31日から6月14日までの15日間の開催となりました。

今回の定例会では、令和6年度吉川市一般会計補正予算(第2号)などの市長提出議案14件(2・3ページ)の他、3件の意見書(10・11ページ)などを審議し、議決しました。(審議結果は14ページ。)

その他、市政に対する一般質問(6〜10ページ)、特集ページとして令和5年度政務活動費の報告(12ページ)と、議会のライブ中継と録画の視聴、会議録検索の手順(13ページ)をお知らせします。



# 令和6年度吉川市一般会計補正予算を可決

## 令和6年度 一般会計補正予算 (第2号)

既定の歳入歳出予算に7億3980万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額は285億6094万円となりました。

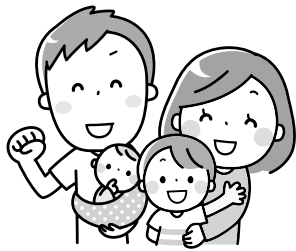


こんなことに  
使われます!

国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、非課税化世帯支援給付金と均等割のみ課税化世帯支援給付金、定額減税補足給付金を支給します。

### ◆非課税化世帯支援給付金 給付事業

1億3500万円  
令和6年度に新たに住民税非課税となる世帯に対して、10万円の給付金を支給します。また、その世帯に扶養される18歳以下の児童1人あたり5万円のことも加算を給付します。



### ◆均等割のみ課税化世帯支援 給付金給付事業

6550万円  
令和6年度に新たに住民税均等割のみ課税となる世帯に対して、10万円の給付金を支給します。また、その世帯に扶養される18歳以下の児童1人あたり5万円のことも加算を給付します。

### ◆定額減税補足給付金給付 事業

5億2724万円  
定額減税しきれない方に対して、差額を1万円単位で切り上げて給付します。

### ◆住民基本台帳事業

1206万7000円  
戸籍に記載される氏名の振り仮名を住民票と戸籍の附票に記載するためのシステム改修費用です。

### 主な議案のあらまし

◆吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

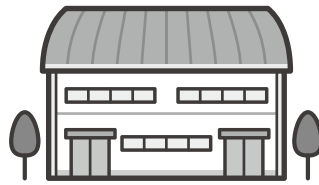
国の法令改正に伴い、保育所等における満3歳以上の児童の職員配置の最低基準について見直しを行うとともに、小規模保育事業所\*1や事業所内保育事業所\*2における保育士の配置について、特例を設けようとするものです。



◆財産の取得について  
水防用備品として、大型エンジンポンプを1台購入しようとするものです。

◆工事請負契約の締結について

吉川市総合体育館長寿命化改修工事（建築）の請負契約を締結しようとするものです。主な工事内容は、外部改修・内部改修・トイレ改修・外構工事です。



◆工事請負契約の締結について

吉川市総合体育館長寿命化改修工事（機械設備）の請負契約を締結しようとするものです。

主な工事内容は、空調設備・電気設備・衛生器具設備・ガス設備・消火設備・給水・給湯・排水工事です。

◆工事請負契約の締結について

小中学校10校の体育館空調設備設置工事の請負契約を締結しようとするものです。

主な工事内容は、空調設備などの機械設備工事・建築工

事・電気設備工事です。



◆専決処分事項の承認<sup>※3</sup>について（報告第5号）

さいたま地方裁判所令和3年（行ウ）第42号行政処分義務付等請求事件の判決に一部

不服があることから、東京高等裁判所に控訴を提起することについて専決処分したため、承認を求めるものです。これについて、3名が討論を行いました。

― 反対討論 ―

平和市民クラブ

岩田 京子 議員

重度のALS患者との24時間介護を巡る2年半の裁判・判決・控訴。あらゆるマスキが取り上げ、市内外の多くの方々から吉川市の福祉につ

いて心配の声が届いている。

今回の控訴は、地方自治法の議決案件との認識はあるものの、控訴期限まで2週間だったため専決処分で行ったとの説明。しかし、判決日は2月7日の最終弁論の時に知らされていて、臨時議会開催は決して不可能ではなかった。吉川市の評判を下げ、市民の幸福実感を損ないかねない重大な案件。やはり臨時議会を開催すべきだったと思う。

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

裁判で問われたのは、人工呼吸器を装着した重度障害者の「家族介護の時間をどう見るか」だった。未就学児を含む子どもを3人抱え、24時間介護を希望しながら、「見守り介護だから子育てしながらでも可能」との判断に基づいた訪問介護支給時間の決定通知を受け取った時、本人と家族がどんなに重い悲しみに陥ったかは想像に難くない。

市の決定は障害者総合支援法に基づいたものであり、問われるべきは県や国の指導や

責任、障害者総合支援法の限界である。市が争うべきは原告ではなく、国や県である。

― 賛成討論 ―

未来会議よしかわ

林 美希 議員

反対討論の中に「専決処分ではなく臨時議会とすべきだった」とあるが、そう考えるのであれば議会として動けたはず。また、反対討論の中に「報道を知った市民の皆様方が不安に感じてしまう」とあるが、議決の責任をもって市民の皆様方にご説明するのも議員の役割。正当な手順を踏んだ支給決定に対する判決論点を整理し、公の場で明らかとする姿勢を見せることが、市民の皆様の安心感に繋がると考える。以上の理由から、賛成の立場を取る。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の岡田明子氏が9月30日をもって任期満了となるため、再度推薦することと同意を求めるものです。

◎用語解説

※1 小規模保育事業所

19人以下の利用定員で保育を行う事業所で、事業形態に応じて保育所分園に近いA型、家庭的保育（グループ型小規模保育）に近いC型、その中間的なB型のタイプを設け、それぞれに基準を規定しています。

※2 事業所内保育事業所

会社や病院などに設置する市区町村の認可を受けた保育施設において保育を行う事業所です。

※3 専決処分事項の承認

地方自治法の規定により、本来は議会が議決しなければならぬ事項について、議会を招集する時間的余裕がないときなどに、市長が議会に代わって決定することがあります。ただし、市長は、次の会議において議会に報告し、その承認を求めなければなりません。

# 委員会審査概要

## 総務健康常任委員会

### ◆工事請負契約の締結について

総合体育館の屋根は平成14年に改修を実施しており、今回の工事では改修をしないとのことだが、事前に調査したうえで判断したのか。

今回の改修工事の設計では、内部から天井部分の調査を実施し、屋根については外側からも目視で調査を行った。一部、汚れが目立つ箇所があったが、十分に機能を果たせるものと考えている。強雨強風により、場所によっては雨漏りする箇所もあるが、その原因が屋根からなのか、外壁のクラックからなのかを特定することは難しい。しかしながら、今回の工事で外壁のクラックを埋める改修を行う予

定であり、その点は問題無いと考えている。また、外壁塗装については、耐久性を重視して修繕を実施する。

トイレの改修について、多目的トイレを拡張することだが、多目的トイレについては、オストメイト対応設備等も設置できる十分な広さが確保できるのか。拡張する面積はどのくらいか。また、多目的トイレの表示はどのように考えているのか。

多目的トイレは入口部分を拡張し、スペースを確保することで、ベッド等必要な設備が設置できるようになる。表示については、トイレも含め、利用者に対してわかりやすく案内ができるよう、設計を行った。また、男性トイレ、女性トイレ、多目的トイレであることを明確に、わかりや

すい表記とする予定である。

最低制限価格を下回ったことによる失格が3者あるが、計算方式はどのように設定しているのか。

要綱に基づき、算出している。基準に基づいた適切な額であると考えている。

### 賛成全員で可決



委員会報告を行う赤出川委員長

## こども教育常任委員会

### ◆吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準

を定める条例の一部を改正する条例

保育士配置特例について、「保育士と同等の知識及び経験を有する者」とは、また「同等」というのをどのように確認するのか。

「保育士と同等の知識及び経験を有する者」については、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭のほか、埼玉県で開催されている子育て支援員研修を受講した者、保育所等で保育業務に従事した期間が十分にある者（常勤で1年以上を想定）が該当となる。

子育て支援員研修の内容と期間は、

埼玉県で毎年開催しており、実際の保育現場で働く上で実践的な内容を含めた研修になっている。期間は、基本研修1日、専門研修5日、見学実習2日で計8日となっている。

すでに吉川市は埼玉県の新たな基準どおりに保育士が配置され、みなし保育士も働いているという理解でよい。

今回の条例改正の内容は2点ある。1点目は、3歳児20対1から15対1、4・5歳児が30対1から25対1へと配置基準が改正されるものであり、この点に関して市内保育所では新たな基準での運営がすべて確認できている。2点目は、みなし保育士の配置特例であるが、実際の配置確認はまだ行っていない。

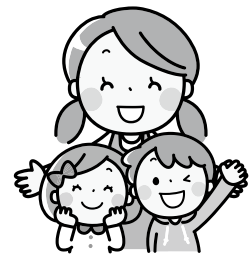


委員会報告を行う吉川委員長

家庭的保育者は、市町村が行う研修を修了したものでもよいと聞いているが、市の考えを伺う。

今回のみなし保育士の配置特例は、保育の受け皿を広げるといふ意味で一定の効果があるものと認識している。家庭的保育者については現時点で該当する方がいないが、保育士と同等の知識及び経験を有すると市町村長が認める者が家庭的保育者となるので、希望者には積極的に促進していきたいと考えている。

**賛成全員で可決**



**建設生活常任委員会**

◆財産の取得について

購入するポンプの保証について、1年以内は無償、1年以上は有償か。重大な故障が発生した場合は、1年以上であっても、発注者と受注者の協議により、修理を行わせることができるのか。

納品から1年以内は保証が適用されて、製品の不良箇所があれば無償で修理を実施。その他想定していない故障については、受注者と協議して保証対象を検討したいと考えている。

納期が令和7年3月31日となっているが、守れるのか。ポンプメーカーへの聞き取



委員会報告を行う大泉委員長

りから、手配できる見込みと聞いており、現在は年度内の納品を予定している。

最大排水量が毎分30立方メートルとあるが、排水エリアはどれくらい広がるのか。

このポンプに伴う排水エリアについての変更はない。

確認として、排水エリアは広がらないということか。

排水エリアの拡大はないが、今回のポンプに更新することで、排水能力が向上して排水時間の短縮につながる。

**賛成全員で可決**

**注目の議案**

6月定例会で可決された財産の取得と工事請負契約の締結についてご紹介いたします。

◆大型エンジンポンプの取得

水防用備品として、内水被害の軽減対策のため、最大排水量毎分30mの大型エンジンポンプ1台を購入しようとするものです。納入場所は新方川左岸で、納期限は令和7年3月31日です。

◆総合体育館長寿命化改修工事（建築・機械設備）

建築工事と機械設備工事に分割し、契約を締結します。このうち、機械設備工事では、大体育室・小体育室・トレーニング室・第一武道場・第二武道場にガスヒートポンプ型空調機を設置します。それぞれの工期は、契約締結日から令和7年3月21日までです。

また、この工事に伴い、令和6年7月1日から令和7年3月31日の期間は、窓口を除き体育館施設の利用が休止となります。

◆小中学校10校体育館空調設備設置工事

小学校6校と中学校4校の体育館にプロパンガス方式による空調設備を設置しようとするものです。工期は、契約締結日から令和7年7月31日までで、3工区に分けて実施する予定です。今回の工事の対象となっていない中曽根小学校体育館は、令和7年度に長寿命化改修工事と合わせて行う計画です。また、美南小学校体育館は、電気方式により、今年度中に整備する予定です。



※財産の取得と工事請負契約の議決

条例の規定に基づき、議会の議決に付さなければならぬ契約は予定価格1億5千万円以上の工事の請負、また、財産の取得は予定価格2千万円以上の財産の買入れなどとなっています。

## 一般質問

# 答えて市長！ 一般質問

一般質問とは、議員が広く自治体の事務一般を対象として、執行の状況、将来の方針を執行機関である市に問いたすものです。質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

今定例会では、6月12日(水)、13日(木)、14日(金)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解をたしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、9月上旬となる予定です。



## 子宮頸がんキャッチアップ 接種の期限お知らせ通知を

五十嵐 恵千子



**問** 令和4年度にHPVワクチン接種の積極的勧奨が再開され、中止期間中に接種を逃してしまった1997年4月2日～2008年4月1日生まれの女性は3年間の時限措置で無料接種ができます。対象者へ、その期限を知らせる再通知を。

**答** 市では、2022年5月に対象者へ接種勧奨通知を送付し、2023年3月には、新たなワクチンが追加された通知を送付しているのので、再通知を実施する予定はない。

### ◆フェーズフリーの取組み推進を

**問** 日常と非常時の垣根を取り払うフェーズフリーと呼ばれる新発想の防災が注目されている。本市も日常から防災に取り組むこの概念を市民・事業所等へ一層の啓発に努めては。

**答** 重要な視点であると考えている。これまでの「災害の備え」に対する啓発で更にフェーズフリーの要素を取り入れられないか検討する。

### ◆堤防強化事業の問題解決を

**問** 平方新田地内の問題解決へ話し合いの場を。

**答** 問題解決へ国・市・地域住民で話し合う。

## 公園等の管理協定見直し 愛護活動の輪が広がる

降旗 聡



**問** 公園・緑地等の維持管理協定の見直し内容について。

**答** あらためて、「地域におけるコミュニティ活動の推進」と「公園等の良好な環境保全及び愛護精神の向上」と明確化し、活動団体については3人以上とした。また、報奨金については作業内容に応じて面積当たりの単価を区分するなど、各団体の活動内容に応じて可能な範囲で愛護活動を行っていただけるよう見直しを図った。

**問** 活動団体の反応について。

**答** 概ね見直しの趣旨を理解していただいていると考えている。令和6年度から、維持管理する公園を増やした団体、ゴミの清掃作業だけではなく除草作業も行うなど活動内容を拡充した団体もある。

**問** 広報よしかわでの周知による変化は。

**答** 3団体から問い合わせがあり、1団体は新たに公園の維持管理を行う団体として、また2団体は公園などに花を植える団体として活動したいと相談があり、愛護活動の輪は広がりつつあると考えている。

### 常総市のアグリサイエンスバレーを 参考モデルに

小野 潔



**問** 三輪野江地区のまちづくりでは、「農地保全エリア・農業拠点検討エリア・将来開発エリア」の3つに分けて進めている。①将来開発エリアの『工業団地開発』の進捗状況は。②農業拠点検討エリアの『農業パーク構想』の進捗状況は。③千葉大学の提言で提案された常総市の『アグリサイエンスバレー事業』を参考に。

**答** ①地権者の半数が民間事業者との契約等の現状がある。県企業局との共同事業方式は困難となり、民間開発を想定。②高品質な野菜類の栽培や観光的な要素も考えた高級果樹類等の生産など、多面的な取組の出来る事業者とのヒアリングを実施。③市でも視察を行い進め方や手続き等も教えていただいた。参考とした。

#### ◆子育て支援について

**問** ①伴走型相談支援及び妊娠時・出産時の各5万円の応援給付事業の反響は。②「入学準備応援給付金」を来年以降も実施しては。③「18歳までの子ども医療費無償化」の周知状況は。

**答** ①相談でき安心、経済的に大変助かるとの声。②やらない。③対象者へ案内を送付した。

### 安全安心のまちづくり について

松崎 誠



**問** 市街化調整区域内で、交通の不便な地域に居住する75歳以上の方で、自ら日常の交通手段を持たない方に、料金の一部を助成するタクシー利用料助成事業について伺う。予約困難な時があると聞くが事業者へ何か働きかけているか。

**答** 市内、1事業者で運行されている中で、利用者の方々のご不便を感じていることは市としても把握している。事業者の人手不足解消に向け、事業者との連携を密にして対応する。

**問** 埼玉型は場整備事業を利活用して、農地等の利用集積・集約化を推進し、生産性の高い優良農地をしっかりと次世代に繋げていくことが大切だ。埼玉型は場整備事業は、整備を進めるにあたって地権者の方々の金銭的負担がないことが大きなメリットの一つになる。今後の取り組み方針について伺う。

**答** 担い手への農地集積加速化がメリットであり、後継者不足や遊休農地の解消につながる。本事業の実施に当たり100%の同意や営農ビジョンの策定等があり、調整が必要となることから関係機関との調整を図っていく。

### 公共での喫煙について

菊名 克典



**問** 喫煙所の案内表示を設置することで、喫煙者のマナー向上、路上喫煙の減少が見込まれ、受動喫煙のリスク低減に繋がると考えるが、市としてのご所見を伺う。

**答** 現在も各施設において喫煙スペースの案内を表示しているが、来場者等に確実に喫煙スペースへご案内することは困難である。よって、喫煙の際は各々が非喫煙者へ配慮していただけるよう、引き続き喫煙マナーの啓発に努める。

#### ◆学校部活動から地域クラブ活動への移行の進捗状況 について

**問** この1年間で想定以上のスピードで進んでいることを実感している。子どもたちの活動のためにもスピード感が必要だと思うが、いかがお考えか。

**答** 部活動に関して様々な動きがあり、機をとらえて動くことの重要性も認識している。環境の変化に注視すると同時に、子どもたちが将来にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことのできる環境づくりを最重視とし、継続的に活動できるよう段階を経て取り組んでいく。

### 吉川市公共施設 長寿命化計画について

大泉 日出男



**問** 国では、学校等の施設整備予算に充当されている5ヶ年加速化対策が令和3年から令和7年に進められる。近年の予測不能な自然災害から人命を守るために、文部科学省と各自治体が連携し推進すべきだ。当市での本計画では、早急に対処すべき施設は何カ所で、具体的な棟数、そのうち劣化調査は何棟か。

**答** 対象施設は51施設、162棟のうち60棟となっている。計画上では5年ごとの計画見直しにはなっているが、実際は、緊急の優先度が高まった際には都度修繕を行っている。

**問** 全国的に外壁等の落下事故が多発し、直近では昨年4月に北九州市で、10月に久喜市で外壁落下。約5年前に当市でも一斉点検をした経緯がある。その後の対策と現在の管理体制はどのようになっているのか。

**答** 平成30年には全校総点検を行い、現在も同様に外壁総点検を実施している。落下事故にならないよう、常日頃からの点検に取り組んでおり、各学校の管理職から毎月報告や年1回の中期管理計画報告の実施、マニュアル作成もされており、共通での取り組みを実施している。

## 子ども達の健やかな育ちの為に

岩崎 小百合



**問** 市の3歳4か月児健診において、「スポットビジョンスクリーナー（屈折検査機器）」が、令和6年3月から導入された。その経緯と、屈折検査機器について伺う。

**答** 令和4年6月、国がこの検査を弱視などの早期発見に効果的と判断し、補助制度を創設。それを受け、市は令和5年度に予算措置し、令和6年3月に購入。この器機は、赤外線を利用して瞬時に目の写真を撮影し、屈折や眼位検査を行うもので1人概ね1分程度。

**問** 子どもの視覚は6歳頃までに完成されるといわれ、弱視は成長してからの回復は難しい。早期発見・早期治療がカギとなる。幼少期は子ども自身が見え方の問題を自覚し伝えることは難しいため、3歳4か月児健診における屈折検査は大きな効果が期待される。一人でも多く受診してもらえるように、屈折検査を行う目的や効果などについて、今後HPで分かりやすく周知していく必要があると思うが、その予定はあるか。

**答** チラシやパンフレット等で周知に努めている。HPに載せる内容については精査する。

## 産後ケアの拡充を

林 美希



**問** 「多胎児家庭」「医療的ケア児家庭」、対象となる子ども以外にきょうだい児がいる場合、特段の配慮が必要と考える。このような場合、他の子育て支援サービスとの組み合わせの提案など想定と準備はされているか。

**答** 複数人の乳児が宿泊する場合など、特段の配慮を要すると考えられる場合は別途制度を設けている。訪問型などは家庭状況等に関わらず一定のサービスの提供が可能と考えており、個別事情については詳細な制度設計による対応は難しいと考え、他のサービスの活用も含めて個別に相談に応じている。

**問** 宿泊型、通所型、訪問型、それぞれ拡充を求める。既存の受託事業者との調整、他の内容を提供する新規事業者の掘り起こしの有無や状況、契約締結の可能性は。

**答** サービス提供事業者が増加し、その特徴に応じて選択肢が増えることは望ましいと考えている。事業の趣旨に則し、より充実したサービスの提供に向けて、引き続き事業者との情報共有と丁寧な協議を進めていく。

本市と台湾との  
友好交流について

宮窪 雅一



**問** いつも日本に寄り添ってくれる台湾の人々との交流の深化は、子どもたちが現代日本人が忘れつつある日本人としての誇りを持ち、自尊心と自己肯定感の向上に期待できる。友好都市協定の締結等検討出来ないか、市の見解は。

**答** 外に出ることにより、日本人としてのルーツやアイデンティティを深く考えるきっかけになる。市内には約60カ国、2千人を超える外国の方が住まれており、すべての国と友好関係が築けたら素晴らしい。その中でも台湾は最も日本人と価値観も近く『なまずサミット』でも協力をいただき、台湾花蓮地震では義援金をお送りし交流が始まっている。民間、市民の交流がさらに深まれば機運も高まるのではないかと。

## ◆歴史教科書選定について

**問** 『家族を郷土を愛し志を立て凛として生きてゆく』という市の教育大綱に即した歴史教科書選定をすべきでは。

**答** 新しい事実が分かった場合、常に知識を更新し、採択地区の調査員、選定委員とも共有し、子どもたちに正しい事実が伝わるよう努力する。

## 選挙の投票率について

野村 拓郎



**問** 投票率低下の原因について伺います。

**答** 投票率の低下の要因につきましては、「政党の政策や候補者の人物像の違いがよく分からなかったから」、ついで「選挙にあまり関心が無かったから」とのご意見が多かったことから選挙に関心が低いとの要因があると考えております。

**問** 令和6年1月の市議会議員選挙において前回の回答以外の広報活動、啓発活動を行ったか伺います。

**答** 新たに三輪野江小学校にご協力をいただき、次世代を担う子どもたちの声で、告示日の翌日から投票日まで広報車での呼びかけを実施したところです。

**問** 今後の選挙の投票率を上げるための施策があれば伺います。

**答** 選挙への関心を高めるために今までの広報活動、啓発活動を引き続き実施するとともに、若い世代が触れることが多いSNS等の活用についても検討してまいります。選挙の重要性を理解してもらえるように、幅広い世代に向けての広報活動を継続していきます。

### 安全な越谷吉川線の道路を

飯島 正義



**問** 昨年6月議会、中央中南側の越谷吉川線に信号機設置を求める会から「押しボタン式信号機と横断歩道の設置を求める請願」が提出され、全員賛成で採択されました。その後の経過と計画についてお聞きします。

**答** 今年7月5日に吉川橋から吉川交番までの県施工区間が4車線に供用開始されるので、その後の交通量を調査したうえで改めて要望します。

#### ◆障がい者等に配慮した東口駅前広場工事を

**問** 吉川美南駅東口駅前通り線から駅前広場までの工事が行われています。駅前にはパイプガードがあり、歩道は砂利道で車椅子の移動は困難です。見解をお聞きします。

**答** 駅前広場を含め歩道に電線共同化工事を行っています。一部舗装がされていませんが、今年度中に舗装を実施します。工事期間中は駅利用者の方々の安全を考え、高齢者、障がい者の方の通行に配慮し、案内標識の設置や誘導員の配置等を行い、工夫しながら工事を進めます。

### ごみ処理施設更新事業等で 市の分担金1.5倍、見直しを

遠藤 義法



**問** 資源環境組合の第一工場ごみ処理施設更新計画は、現在1日800tの焼却能力を720t、工事費を715億円としています。吉川市の分担金は毎年引き上げられて、29年度には今年度の約1.5倍、7億円近くになる見通しです。環境負荷を減らし、事業費減のためにも720tの施設規模を減らすなど見直すべきではありませんか。

**答** 人口減、ごみ減量化を考えれば720tの施設が必要か、資源環境組合で訴えてきました。財政問題もあり、基金(180億円)がこの額必要ななど、市の担当も入れて協議を行う予定です。

ごみ有料化やプラゴミ手数料も計画に示されており、資源環境組合のリーダーシップで5市1町同時に進める必要があります。

#### ◆地方自治法改正の認識は

**問** 国会で審議されている地方自治法改正についての市長の認識をお聞きします。

**答** 国の権限強化よりも地方自治体の権限強化の方が、非常時の課題はスムーズにいくのでは。分権の根底にかかわり、具体的なことが曖昧なまま決まることが怖いと感じています。

### 最期まで自分らしく生きる 「終活」のすすめ

岩田 京子



**問** 昨今「終活」は未来を生きるための「ポジティブ」な活動といわれ、30代から始める方もいるようだ。財産整理、遺言書の作成、身の周りの整理、葬儀やお墓の準備、介護・医療の在り方、エンディングノート、人生会議等。市の計画の中に、成年後見人の中核機関について段階的に整備するとある。最終イメージと進め方についてお聞きする。

**答** 令和7年度の整備を目的に、社会福祉協議会が中核機関として機能することを想定している。引き続き関係機関が連携・協力し、段階的に機能充実を図ることが重要である。

**問** 人生会議は、自らが希望する医療やケアについて、医療機関・医療従事者・家族と話し合っ、方針を共有するための場だ。吉川市の人生会議の推進に関する現状は。

**答** 吉川松伏在宅医療サポートセンターに委託し、医師による人生会議の出前講座を実施している。令和5年度は5回開催で、延べ96名が受講。令和8年には331人を目標にしている。

**問** 11月30日は人生会議の日。アクションは。

**答** 情報を参考に人生会議の推進を考えたい。

### 様々な課題のある 太陽光発電の見直しを

吉川 敏幸



**問** 太陽光発電には、強制労働下で製造されている人権の問題、9割が中国産であり、日本の排出量削減の76%は経済活動の低下によるものという経済面の問題、各地にできて傾斜地のメガソーラーは土砂災害リスクを高め、パネルには鉛、カドミウム、ヒ素など有害物質が含まれ、むしろ環境が破壊されている問題、インターネットに接続されている場合、中国共産党や軍部に遠隔操作される懸念がある安全保障上の問題など様々な問題がある。そして、効果は日本のCO2排出量は世界の3%に過ぎず、2050年に脱炭素を達成できたとしても気温の低下はわずか0.006℃であり、ノーベル物理学賞受賞者2名を含む1931名の学者や専門家が気候非常事態は存在しないとしてクリンテル気候宣言に署名している。今後の設置への市の考えを伺う。

**答** 吉川市としては地球温暖化対策を進めていく中で、再生可能エネルギーの活用、中でも太陽光発電の推進というのは重要な施策であると考えている。また、吉川市が所有する太陽光発電施設はネットワークに繋がれていないので、サイバー攻撃を受けるという心配はない。

**高齢社会における  
自治会町会のあり方**



中嶋 通治

**問** 市が自治会に依頼している広報の配布は自治会にとって負担になっていないか。

**答** 52自治会のうち約6割の自治会が広報配布に対して負担と回答。一方、月1回集まる事が情報交換の良い機会になっている。広報配布等の協力に対して交付する地域自治振興交付金は、自治会運営において貴重な財源となっている。

**問** 職員による自治会への配送業務は見直すべきだと思うがいかがか。

**答** 2人一組で公用車に分乗し、自治会長宅等に配送している。見直しにあたり、自治会の現状や費用対効果等総合的に勘案し、検討する。

**◆災害時のトイレ対策について**

**問** 石川県七尾市に職員を派遣されたが、現地でトイレの環境、現状はどうだったのか。

**答** 開設した直後は簡易トイレが設置され、排泄物の入った袋が廊下に置かれていた。

**問** 災害時のトイレの確保・管理計画を策定するべきと考えるが。

**答** 国のガイドラインを参考とし、トイレ環境が確保されるよう備えていく。

**住宅確保要配慮者への  
温かい支援を**



雪田 きよみ

**問** 昨年10月以来3人、住宅確保に困難を極める方にご相談をいただいた。そのうち一人はどうしても転居先が見つからず、私に「消えようと思う」と自殺すら思わせるLINEを送ってくる状況だった。市の自殺対策計画には「誰も自殺に追い込まれることのない吉川市を目指して」とあるが、現実には住む家を失い、自殺すら考える状況に追い込まれている市民がいる。こうした現実にはどのように対処するのか。

**答** きちんとお話を聞き、対応するよう心掛けている。緊急に行き場がないような場合、無料低額宿泊所をご案内し、その先の転居先をできるだけ早く見つけるよう支援に努めている。

**問** 一人の方が入居した無料低額宿泊所の広さは、布団を一枚敷くともう一杯の状況。鍵もかからず、ダニが大量発生。朝夕の食事代を含め、入居費用の9万8000円を支払うと手元に残る生活保護費はわずか。それが、もう一度人生を立て直していく支援に繋がるのか。

**答** できるだけ環境の良い所をあたりながら、支援に努めている。できる限り次の転居先が見つかるように必要な支援は行っていきたい。

議員提出議案

**意見書**

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に關することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

**今定例会には、3件の意見書  
が提出され、すべて可決、内閣  
総理大臣等へ送付しました。**

**国民健康保険税の引き下げのために  
国負担の大幅増を求める意見書**

年収400万円4人家族で49万2500円の国民健康保険税は負担の限界をこえています。それにもかかわらず、5月現在で明らかになっているだけで、県内32市町が令和6年度国保税の引き上げを決定しています。

吉川市の年収400万円4人家族の国保税は昨年度は45万8000円でしたので、1年で4万17000円の引き上げです。県内には5万円以上の引き上げを行った自治体もあります。

各自治体で同時に介護保険料や後期高齢者保険料の引き上げも決定されており、物価高騰と合わせて私たちのくらしへの負担が重くなるのは必至です。

国は保険者努力支援制度で、県と市町村を法定外繰り入れ全廃・保険税の統一へと誘導してきました。さらに県は国保運営方針で法定外繰り入れ全廃などを市町村に求めてきました。これらが、引き上げへとつながっています。近年パート従業員などを中心に国保から社会保険への移行が進んでいます。このままでは国保被保険者は激減する一方、残った低所得者に耐え難い負担が生じることになりかねません。国保は被保険者の大半が高齢者や無職者であり、社会保障制度です。全国知事会と全国市長会などの地方団体は「1兆円の公費投入など国の財政支援により、国保税を協会けんぽの保険料並みに引き下げること」を求めています。地方の願いにこたえ、国民健康保険税の引き下げのために国の負担を大幅に増やすことを求めます。

**第7次エネルギー基本計画の策定に  
際し、1・5度目標の確実な実現を  
目指すことを求める意見書**

昨年は地球沸騰化と指摘され、産業革命前から1・45℃上昇し、過去10万年で最高の気温上昇を記録しました。これまでの予測以上のスピードで気候崩壊の切迫性が強まり、気候危機対策は待ったなしの状況へと追い詰められています。

昨年12月にはCOP28が開催され、1・5℃目標の確実な実現のために「化石燃料からの脱却の加速」「2030年までに再生可能エネルギー容量を3倍、省エネ改善率を2倍」等という国際合意が確認されました。また、第1回グローバル・ストック・テイクの成果文書が出され、各国は、この成果文書を参照して、2025年までに次期目標（2035年目標）を立てることになりました。

我が国では、今年、第7次エネルギー基本計画の策定、そして来年のCOP30へ向けた2035年目標が確定される予定です。日本も責任の大きい先進国として、世界に後れを取らないよう国際的合意に足並みをそろえ、1・5℃目標へ向け、確実

な実現を目指すために以下を求めます。

記

(1) 第6次エネルギー基本計画において「2℃以下、1・5℃へ努力する」と記しているが、第7次エネルギー基本計画では1・5℃目標を目指すこと。

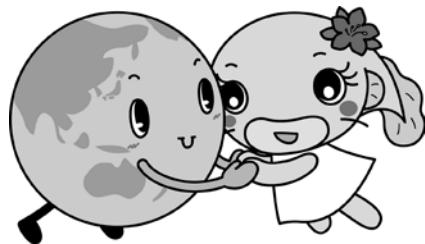
(2) 1・5℃目標の実現のために、日本のCO2削減目標を46%から60%以上の引き上げを目指すこと。

(3) 2030年再生可能エネルギーの設備容量を3倍とすることを目標と掲げ、再エネ拡大のための優先接続制度、フレキシビリティ確保のための仕組みや電力系統の拡充に大規模な予算を投入すること。

(4) COP28では省エネ改善率2倍が合意されている。日本のエネルギー消費に占める建築物業務部門と家庭部門の割合は3割である。2030年よりも前倒しでZEH・ZEB(ゼロエネルギーハウス・ゼロエネルギービル)の義務化を目指すこと。

(5) 消費者が賢く電力使用量を制御すること、電力需給バランスを整えるための仕組み・DR(デマンド・レスポンス)の活用策等の制度整備を推進すること。

(6) 炭素税を段階的に引き上げ、化石燃料からの脱却を目指すこと。



**都市再生機構(UR)賃貸住宅の家賃  
減免実施を求める意見書**

吉川市内には約1960戸の独立行政法人都市再生機構(UR)の賃貸住宅があり、多くの市民が居住している。UR住宅(公団住宅)は設立以来所得の中間層を施策対象として家賃設定をし、市場家賃平均が概ねその額に相当している。

都市再生機構法は、市場家賃を原則としながらも家賃減免を定め、国会が付帯決議をしたのは家賃支払いが困難であると認められた場合など継続居住

者の居住の安定を図るものであった。しかし、居住者の多くが公営住宅収入層であるにもかかわらず、家賃減免が実施されていないのが現状である。

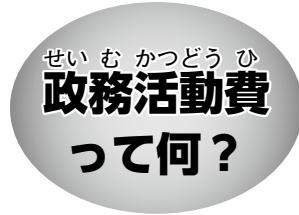
UR賃貸住宅の入居者の状況は、年々高齢化が進み、年金生活者が増え家賃負担が重いと感じる世帯が多くなってきたことが、全国公団住宅自治会協議会が行っている3年毎の団地の生活と住まいのアンケート調査で明らかである。2023年の調査では、第1分位層が世帯の50%を超え、200万円未満層は36%に達し、家賃の負担が重いと感じている世帯は7割を超えている。家賃負担や団地削減等に不安を持ちながらもUR賃貸住宅への永住希望は78%の集計結果である。住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(住宅セーフティネット法)等でも、UR賃貸住宅を公的賃貸住宅と位置づけ、高齢者・子育て世代等政策的に配慮が必要な者に対する役割としている。

こうした居住者の状況に鑑み、政府、独立行政法人都市再生機構は法第25条4項の「家賃の減免」を規定通り実施し、UR住宅に居住する高齢者や低所得者の居住の安定を図るべきである。

# 政務活動費 内部監査委員会を行いました

## ＜政務活動費＞

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき、地方議会の議員が調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用のことです。



## ＜吉川市議会の状況＞

**対 象** 吉川市議会における会派（所属議員が1人の場合も含む）

**交 付 額** 月額2万円×会派の所属議員数

**使 途 範 囲** 研究研修費や調査旅費、資料購入費、広報費等があり、詳細については運用基準を定めています。

**収支報告** 会派の代表はすべての支出に対して領収書等を添付し、収支報告書を議長へ提出します。また、残余金が生じた場合は返還することになっています。

吉川市議会では、平成21年から「政務活動費内部監査委員会」を設置し、毎年各会派から選出された内部監査委員が関係書類の審査を行っています。今年も4月18日に開催し、8名の委員が審査を行いました。令和5年度の交付額は460万4円（4円利息）、支出額は365万2,390円、残金は94万7,614円でした。収支報告書等、詳細については市ホームページにてご確認ください。



内部監査委員会の様子

## 令和5年度政務活動費

### ◆令和5年4月～令和6年1月分

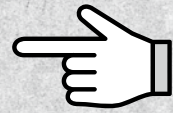
会 派	所属議員数	交付額+利息(円)	支出額(円)	残額(円)
自由民主党吉川市議員団	5人	1,000,002	971,696	28,306
市民の会・無所属	4人	800,000	800,000	0
日本共産党吉川市議員団	3人	600,000	558,527	41,473
公明党吉川市議団	3人	600,000	538,597	61,403
未来会議よしかわ	3人	600,002	294,874	305,128
無所属(成本直寛)	1人	200,000	2,807	197,193

### ◆令和6年2月～令和6年3月分

会 派	所属議員数	交付額+利息(円)	支出額(円)	残額(円)
SELECT吉川	4人	160,000	160,000	0
日本共産党吉川市議員団	3人	120,000	63,305	56,695
公明党吉川市議団	3人	120,000	24,652	95,348
平和市民クラブ	3人	120,000	51,583	68,417
自由民主党吉川市議員団	2人	80,000	80,000	0
未来会議よしかわ	2人	80,000	80,000	0
無所属(加藤克明)	1人	40,000	0	40,000
無所属(宮窪雅一)	1人	40,000	0	40,000
無所属(野村拓郎)	1人	40,000	26,349	13,651

特集

# 吉川市議会へ



# アクセスしてみよう!

吉川市議会では、インターネットで本会議のライブ中継と録画映像を配信しています。また、会議録検索システムで本会議と委員会の会議録をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

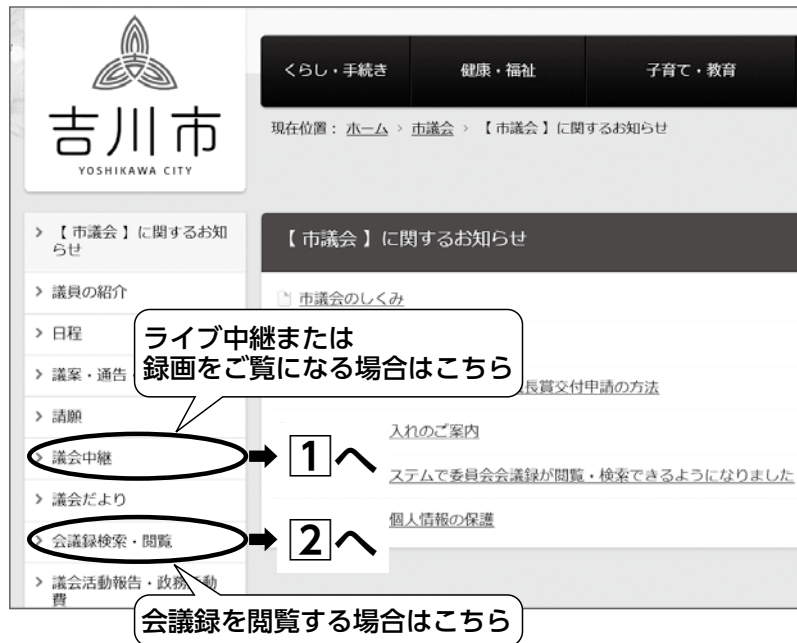
## 【手順1】

吉川市議会のホームページを開き、次の手順で操作してください。

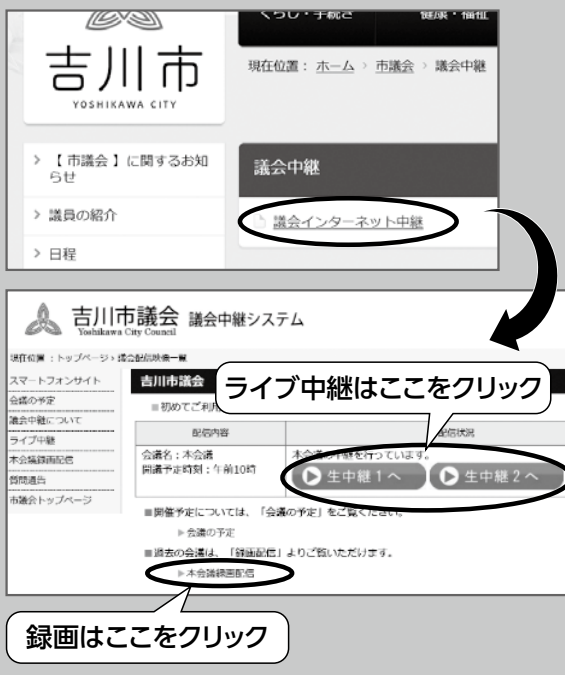
吉川市議会 検索

## 【手順2】

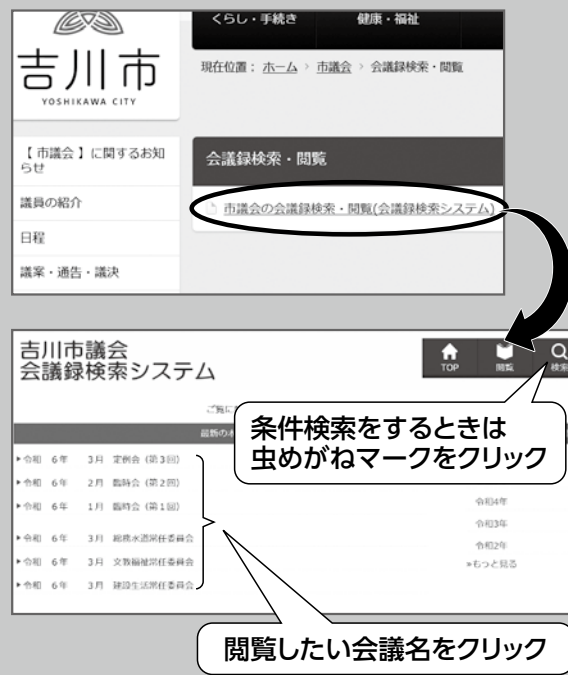
画面左側のカテゴリから、それぞれご覧になりたい項目を選択してください。



## 1 ライブ中継または録画を見る



## 2 会議録を見る



## 6月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)  
◎=議案提出者、—=退席

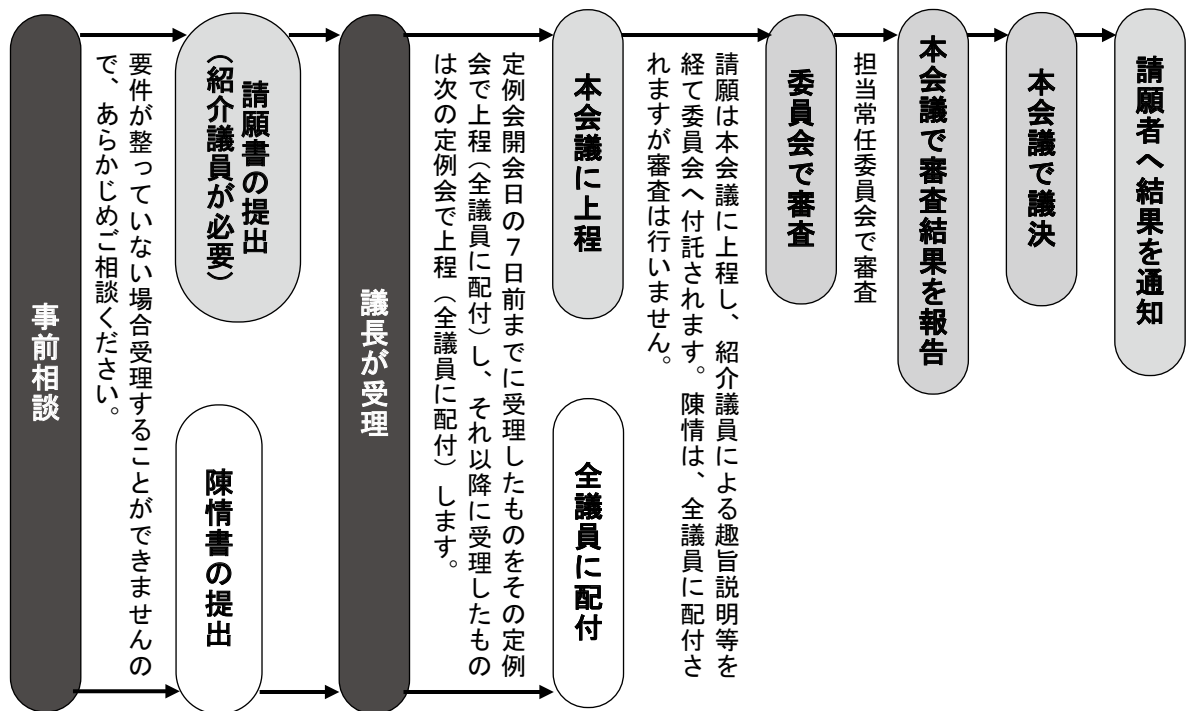
	議決結果	セレクト			共産			公明		平和		自民		未来		無	無	無		
		菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	岩崎 京子	岩崎 小百合	降旗 聡	吉川 敏幸	松崎 誠	戸田 馨	林 美希	野村 拓郎	宮窪 雅一
<b>《市長提出議案》</b>																				
専決処分事項の承認について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分事項の承認について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分事項の承認について	可決	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分事項の承認について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分事項の承認について	可決	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
吉川市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
固定資産評価委員の選任について	同意	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度吉川市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>《議員提出議案》</b>																				
国民健康保険税の引き下げのために国負担の大幅増を求める意見書	可決	○	○	○	議	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
第7次エネルギー基本計画の策定に際し、1.5度目標の確実な実現を目指すことを求める意見書	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	◎	○	×	×	○	○	×	×	×
都市再生機構(U R)賃貸住宅の家賃減免実施を求める意見書	可決	○	○	○	議	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

\*会派名の「セレクト」は「SELECT吉川」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「平和」は「平和市民クラブ」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来」は「未来会議よしかわ」、の略です。「無」は会派に属さないものです。

市議会豆知識

# 請願・陳情してみませんか

吉川市に関する要望や意見を、請願・陳情として吉川市議会に提出することができます。提出から議決までの流れをご紹介します。記載要件等、詳細についてはホームページをご確認ください。



「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

## ◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501

吉川市きよみ野一丁目1番地

吉川市役所 議会事務局

FAX : 048(981)5392

## ホームページ、ぜひ、ご利用ください!



吉川市議会

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

## 次の定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
	9月2日 本会議 (開会日)	9月3日 休会日 (議案調査日)	9月4日 本会議 (議案審議)	9月5日 本会議 (議案審議)	9月6日 休会日 (議案調査日)	9月7日 休会日
9月8日 休会日	9月9日 委員会 (総務健康・ こども教育)	9月10日 委員会 (総務健康・ こども教育)	9月11日 委員会 (建設生活)	9月12日 委員会 (建設生活)	9月13日 委員会 (請願審査)	9月14日 休会日
9月15日 休会日	9月16日 休会日	9月17日 休会日 (委員長報告 作成日)	9月18日 本会議 (委員長報告)	9月19日 本会議 (一般質問)	9月20日 本会議 (一般質問)	9月21日 休会日
9月22日 休会日	9月23日 休会日	9月24日 本会議 (一般質問・ 閉会日)	本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。			

### 傍聴時のお願い

- 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- 係員の指示に従うこと
- 騒ぎ立てる等議事を妨害しないこと
- 携帯電話等の電源を切ること
- 撮影・録音はしないこと



### ～ 会議録の冊子は本会議・委員会ともに次の場所で閲覧できます ～

市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、旭地区センター図書室、議会図書室、市政情報コーナー

### 編集後記

今回の定例会では、災害時の避難所として、また、熱中症予防対策として今まで数多くの議員が質問・要望をしてきた総合体育館と市内各小中学校10校の体育館への空調設備の工事請負契約が可決しました。中曽根小は、長寿命化改修工事と合わせ令和7年度に実施、美南小は、空調設備の方式が異なることから別に発注する予定です。

総合体育館は長寿命化改修工事に合わせて施工し、工期は令和7年3月21日までを予定しています。

今年度、来年度と体育館を使用できない期間があり、各種スポーツ団体等にはご不便をおかけすると思いますが、猛暑の中でも、快適にスポーツを楽しめる日を楽しみにしてください。

吉川 敏幸

### 表紙の写真



吉川市、三郷市、松伏町、春日部市で構成される「江戸川水防事務組合」に、今年一度開催される水防演習、今年度は吉川市が開催地に。本業がありながらも非常勤特別職公務員としてまちを守ってくださる消防団の皆様を中心に、自主防災会の方々も複数の工法の演習にあたられました。この日は暑い日でしたが、日頃から季節昼夜問わないご活動に敬意と感謝を申し上げます。市民の皆様も、災害への備えをよろしくお願いたします。

林 美希